

平成 27 年 12 月 25 日

各 位

仙台市青葉区一番町二丁目 1 番 1 号
株式会社 仙 台 銀 行

公益信託「仙台銀行まちづくり基金」
平成 26 年度（第 23 回）助成先の活動実績について

株式会社仙台銀行（本店 仙台市 頭取 鈴木 隆）では、昨年度（平成 26 年度）に助成した県内のまちづくり団体及び個人 8 先における本基金を活用した活動を、別紙のとおり取りまとめましたのでお知らせいたします。

記

1. 本基金は、当行創業 40 周年記念事業として平成 4 年に創設した公益信託による基金であり、毎年、宮城県内のまちづくり活動に携わる団体・個人に助成を行っております。
2. 昨年度は、宮城県内で積極的にまちづくり活動に取り組む団体等 8 先、総額 100 万円の助成を行いました。
3. なお、助成先の活動実績の詳細につきましては、別添資料『公益信託「仙台銀行まちづくり基金」平成 26 年度助成先の活動実績について』をご覧ください。

以 上

本件に関する問合せ先
経営企画部経営企画課 庄司 TEL 022-225-8258

公益信託「仙台銀行まちづくり基金」
平成26年度(第23回)助成先の活動実績について

平成27年12月



受託者 三井住友信託銀行

平成26年度 公益信託「仙台銀行まちづくり基金」の助成実績等について

当行は、平成4年に当行創業40周年記念事業として公益信託「仙台銀行まちづくり基金」を創設。

平成26年度は、以下の8先に総額100万円の助成を行いました。

【表】平成26年度「仙台銀行まちづくり基金助成先」

助成額	助成先	所在地
20万円	宮城病院周辺地区まちづくり協議会	山元町
	TAKE1060プロジェクト	丸森町
10万円	一般財団法人 アート・インクルージョン	仙台市青葉区
	特定非営利活動法人 まなびのたねネットワーク	仙台市青葉区
	唐桑大漁唄込復活推進実行委員会	気仙沼市
	一般社団法人 雄勝花物語	石巻市
	福地公民館	石巻市
	狩野 あけみ	石巻市

活動実績1

宮城病院周辺地区まちづくり協議会（山元町）

被災地・山元町の集団移転地区の宮城病院周辺地区において、イベント開催や広報誌の発行を通じて、新しい地域コミュニティ形成に取り組みました。



本助成金で七夕交流会を開催し、51名が参加しました。
「まちづくりニュース」を3回発行しました。

活動実績2

TAKE1060プロジェクト(丸森町)

多数のスタッフ・ボランティアの協力を得て、里山の竹材を利用した夏のイベントを開催し、住民参加による町づくりに取り組みました。



本助成金は、竹灯籠づくりなどイベントの運営費として活用されました。

活動実績3

一般財団法人アート・インクルージョン(仙台市青葉区)

青葉区本町商店街の21店舗の協力のもと、障害のあるアーティスト25人の絵画作品の展示会を開催し、一般市民に広く理解を深めてもらうよう取り組みました。



本助成金は、イベントの制作費や
梱包費などとして活用されました。

活動実績4

特定非営利活動法人 まなびのたねネットワーク(仙台市青葉区)

学校と地域をつなぐコーディネーターとして、地域連携や協働教育、志教育をサポートし、復興後の宮城を担う子どもたちの育成に取り組みました。



本助成金で、当団体の活動を紹介する冊子を制作し、教育関係者に配布しました。

活動実績5

唐桑大漁唄込復活推進実行委員会(気仙沼市)

被災地・唐桑町において、地域の伝統郷土芸能である大漁唄込のルーツと魅力を再発見することで、被災地の心の復興を目指しました。



文化庁、文化遺産を活かした地域活性化事業

2015.9.5
鮎立
古館家

大漁唄込みシンポジウム

～そのルーツと魅力をさぐる～

オープニング
時辰 大漁唄込み

東日本大震災の被災地には、たくさんの郷土芸能がある。地域の風土、産業や生活のなから生まれ、伝承されてきた。宮城県気仙沼市の「鮎立大漁唄込」もそのひとつである。しかし、2011年3月11日の大震災で、漁港と周辺施設はほぼ全てが壊された。会員は被災し、和船や家畜として伝わる大切な資料の多くを失った。そのような中、同年5月、空気が晴れていた和歌山県新宮市から鮎立町が来ることになった。鮎立大漁唄込保存会は感謝の気持ちを表そうと大漁唄込を唄い一行を迎えた。震災でいったん忘れかけた「大漁唄込」が新宮市との絆をきっかけに復活した瞬間だった。震災でやむを得ず、いったんこの町を離れざるをえなくなった人たちがいる。「大漁唄込」が唄いつづければ、彼らがこの地に帰って来た時、この唄で迎えることができる。ふるさとを唄って懐かしさを感じたり、ここにきて種知りに会ったり、新しく仲間をつくりたい会で唄い合ったり・・・人との心が通って、過去から現在、現在から未来へと繋いゆられる。唄い唄がれていく文化の光に、地域の未来が近づいていく。(日経月刊報社13年3月号、地域未来研究センター 清水香子氏)

基調講演①「大漁唄込み」の伝承と民俗
川島秀一氏(東北大学農学専攻園芸学助教授)
基調講演② 古本書から大漁唄込、大漁船の歴史
中村只吾氏(東北工業大学専任講師山形市)
朗読
川島秀一氏、中村只吾氏、鈴木伸太郎氏
特別ゲスト
和歌山県新宮市長・田岡実千年氏ほか

～歴史年表～

- 718年(養老2年) 元正天皇の勅命を以て従三位中將・新末左衛門尉種實置儀により熊野海が奉祀に勧請され、後に聖域に祀られる。
- 1313年(正和2年) 蓮玉社から熊野神が聖域山に勧請される。
- 1675年(延宝3年) 紀州藩新宮領内三輪崎の漁師、藤左衛門・藤左衛門らが唐桑村に勧請し、約100名を伝承する。
- 2018年(平成30年) 熊野神勸請1300年祭。

唐桑大漁唄込復活推進実行委員会
〒98-4514 宮城県気仙沼市唐桑町1329
事務局長 戸沼芳文 093-4965473
TEL/FAX 0232-324941 Mail yama@net.tk.ac.jp
【協賛】文化庁、文化遺産を活かした地域活性化事業 公益信託 仙台銀行まちづくり基金

300名が参加した鮎立大漁唄込み

大漁唄込みのルーツと魅力を探るシンポジウムを開催し、200名が参加しました。
本助成金は運営費として活用されました。

活動実績6 一般社団法人雄勝花物語(石巻市)

被災地・雄勝町において、子どもたちが安心して遊べる公園を整備したほか、活動に参加したボランティアとの新たな交流を育みました。



本助成金は、公園の整備費用として活用されました。

活動実績7 福地公民館(石巻市)

被災地・石巻市大川地区で夏まつりを開催し、震災犠牲者への慰霊の花火を打ち上げたほか、子ども向けミニコンサートを開催し、地域住民の交流の場を設けました。



本助成金は、打ち上げ花火など
夏まつりの運営費として活用されました。

活動実績8 狩野 あけみ(石巻市)

被災地・石巻市大川地区において、ひまわり、チューリップ、パンジーの花を植え、地域に
いっぱいの花を咲かせる活動を継続しました。



本助成金で耕耘機を購入し、
花壇を整備しました。